

部門	受賞者	評価のポイント
社会における女性の活躍推進部門	<p>株式会社 建設環境研究所 九州支社 (企業、福岡市博多区)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設業界の中では、いち早くプラチナくるみんを取得。在宅勤務や時短勤務、子の看護休暇等を導入し、女性管理職も積極的に登用。</li> <li>・配偶者の転勤に左右されずにリモートで九州支社での勤務を継続できる、支社が考案したサテライト勤務制度は、後に全社的な制度へ拡大。</li> <li>・15年以上、結婚退職、出産退職はゼロ。昨年度の産休・育休取得率は100%。県主催の「建設産業魅力発信・女性活躍セミナー」への協力など、建設業界での女性活躍推進にも積極的で、女性活躍の先進的部署として社内でも高評価を得ている。</li> </ul>
	<p>那珂川市男女共同参画 地域づくり推進委員会 「座・しゃくなげ」 (団体、那珂川市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を愛し、共に支え合うジェンダー平等社会の実現を目指し、日常における男女共同参画の課題をわかりやすく寸劇や「にわか」にして伝える活動を実施。</li> <li>・ハラスメントや防災など、社会の課題に沿ったテーマを設定して演劇に仕立て、わかりやすく市民に伝えている。</li> <li>・那珂川市を中心に地域や企業の人権研修会やイベント等に招かれ、男女共同参画・ジェンダー平等の啓発を実施。今年度は那珂川市職員研修でも公演を実施。</li> </ul>
	<p>福岡女性学研究会 (団体、福岡市東区)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設立から50年間、女性の社会進出に係る課題を調査・研究し、その成果を著作や「研究会報」などで発表。</li> <li>・平成23年出版の『性別役割分業は暴力である』を題材にしたシンポジウムを久留米市、福岡市で開催。</li> <li>・令和元年度に台湾で現地調査を実施し、公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム主催の研究報告会にて「地方議会の女性議員増加を目指して ～日・台統一地方選挙時の比較調査から～」と題して、調査結果の報告を実施。</li> </ul>
	<p>株式会社 YE DIGITAL (企業、北九州市小倉北区)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年に「女性にやさしい会社は、みんなにやさしい会社」というスローガンを掲げ、女性が「働きがい」「働きやすさ」を感じられる風土・仕組み・環境づくりに努める。</li> <li>・社外のどこでもセキュアな環境で仕事が行えるテレワーク環境「どこでもオフィス」を整備して在宅勤務を推進。</li> <li>・法定年次有給休暇とは別に時間単位で取得可能な積立休暇を導入し、在宅勤務と併せて、介護や子育てに活用。</li> </ul>
<p>女性の自立支援部門</p>	<p>野本 姿美 (個人、福岡市西区)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年から、家庭内暴力などによって家を追われて施設で生活することとなった女性の社会的自立を支援。</li> <li>・令和4年にはNPO法人「ぎんともも」を設立して、シングルマザー家庭の支援や居場所がないと感じている子どもたちが安心安全に過ごせる施設を太宰府市に開設。</li> <li>・施設退所後の女性の就労支援として、①働く場所の開拓、②就労先との関係形成、③継続して働くための伴走支援など、年間20件以上の支援を実施。</li> </ul>
<p>女性の先駆的活動部門</p>	<p>井形 ヤス子 (個人、大牟田市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年に大牟田商工会議所女性会を設立。初代会長として、乳がん検診啓発、大牟田市内の小中学校への防犯カメラ設置事業を継続事業として取り組む。</li> <li>・令和2年豪雨災害からの復興支援として、小学校へのピアノ寄贈、チャリティバザー開催などを実施。</li> <li>・令和5年に大牟田地方ユネスコ協会を設立。初代会長としてユネスコスクールに加盟している市内全ての小・中・特別支援学校への支援世界寺子屋運動をはじめ、世界遺産の保全活動、SDGs展示会など地域ボランティアとして持続可能な大牟田の社会づくりに取り組む。</li> </ul>